

琉球病院 Monthly



独立行政法人
国立病院機構 琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.37
2016. January

発行者 琉球病院事務部長
吉永 可公

基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

新春お慶び申し上げます

院長 福治 康秀

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、各関連機関の皆様には、各方面でお世話になりました。どうもありがとうございました。本年もまたどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年、当院においては、新しい精神病棟の完成と、それに伴って病棟機能の再編という大きな出来事がありました。まず、新病棟完成の折には、多くの皆様に激励をいただきました。どうもありがとうございました。新病棟は、広くなり個室も増え、アメニティの充実が図れたものと思います。そして、病棟機能再編により、精神科救急医療への貢献、クロザピン治療を中心とした難治性精神疾患治療の充実と関連機関との連携、認知症医療の充実を図ると同時に、新病棟だけにとどまらず、各種専門医療の充実へ向け、職員一同全力で取り組んでおります。

当院では、建て替えの二期工事が進んでいます。作業療法棟と重度心身障害児(者)病棟(重病棟)です。作業療法棟は、本年完成予定です。重病棟は、諸事情で現在のところ工期が延びていますが、進めていけるめどが立ちました。完成は再来年以降になる予定ですが、進捗状況をまたお伝えしていきたいと思っております。

また、現在外来の改修を進めています。これまで、限られた数の診察室で、みなさんにご迷惑をかけることが多かったと思っております。この3月には新しい外来となり、診察室も増え、さらにより良き医療を提供していきます。ご期待ください。

県や各関連機関との連携事業も順調に進んでおります。クロザピンを中心とした難治性精神疾患連係事業、「子どもの心」の拠点事業、そして災害派遣精神医療チーム(DPAT)事業、その他各連携事業を進めております。今後も、皆様のご協力のもと進めていきたいと考えております。ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域移行・地域定着については、チーム医療で着実に進めていきます。その体制をさらに厚くできるよう、スタッフ一同で取り組んでいきます。そのためにも、各地域の関連機関との連携が最も重要となりますので、今後もさらにご協力をお願いすることとなりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は、申年(さるどし)です。その中でも、丙申(ひのえさる)にあたるそうです。丙(ひのえ)は形が明らかになってくる頃を表し、申(さる)は果実が成熟して固まっていく状態を表しているそうです。そのことから、今年の干支は「形が明らかになってくる」、「実が固まっていく」ということを表しており、みなさんにとって実り多く成果を出す年になるのではないのでしょうか。我々もより良き医療、療養を結実できるよう、職員一同で最善を尽くしていきます。

今年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長

福治康秀(ふくじ やすひで)
1964年生まれ、那覇市出身、
首里高校卒。
1993年琉球大学医学部卒、
琉球大学医学部精神神経科入局。
95年那覇市立病院精神科、96年
琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、
2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。
日本病院・地域精神医学会理事。



診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・物忘れ外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数 406床

- ・精神科病棟 181床
- ・認知症 50床
- ・アルコール 54床
- ・児童思春期
- ユニット 4床
- ・重症心身
- 障がい 80床
- ・医療観察法 37床



●アクセス
路線バス/ 那覇BS(下)または名護BS(上)より沖縄バス
[77番名護東線]浜田バス下車徒歩3分
自動車 那覇市から40分
沖縄自動車道金武インターから名護向75分

トピックス

行事・出来ごと

- 病棟等建替整備の動き
- 進捗状況 本体工事：請負業者 電気設備 (株)九電工
- 機械設備 (株)三建設備工業
- 建築(第2期)工事 (株)淺沼組
- 新病棟(第1期工事)完成 平成27年7月

教育・研修

- 看護助手実践発表会 平成28年1月20日(水) 13:30~15:00 場所：研修棟会議室

地域医療連携室だより

新年明けましておめでとうございます。琉球病院クロザピン治療専門病棟が開棟し、早半年が経過するところです。

現在約40名の患者様がクロザピンの治療に取り組んでおります。昨年の12月からは第1回目の「クロザピン治療をされている患者様御家族向けへの家族会」も開催されました。他医療機関から新規でのご相談もいただいております。毎週クロザピル家族相談も受けております。多くの方が回復に向け、治療に取り組まれ、私たちが御家族様、患者様の期待に沿える医療を提供できるよう日々努めております。クロザピン治療をご希望の方は、主治医の先生と相談させていただきます。その他、クロザピン治療へのご質問などございましたらいつでもお受けしておりますので、御連絡いただけたらと存じます。今年も御指導御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ時間
8:30~17:15 (土・日・祝日以外)
TEL: 098-968-2133 (代)
内線: 231・234
地域医療連携室(直通)
TEL: 098-968-3550
FAX: 098-968-7370



空床状況

精神科病棟 8床	認知症 2床	アルコール 8床	児童思春期ユニット 2床
-------------	-----------	-------------	-----------------

12月25日現在

※ 入院予約に関するお問い合わせは地域医療連携室へご相談下さい。

★ 新病棟にクリスマスツリーを！

当病棟は急性期の病棟であり、患者さんの症状の特性上、入院時より行動制限を余儀なくされる方も多くいらっしゃいます。治療がすすみ軽快していく中で徐々に行動制限は解除されますが、閉鎖病棟という環境の中での療養は、どうしても患者さんに窮屈な思いをさせることになります。しかし、今年7月に新病棟に移転し、中庭に面する食堂ホールはとても明るく日中は患者さんが唯一「風」を感じる事の出来る場所になっており、患者さん同士の交流などがあります。

そこで私達は、患者サービスの一環として大きなクリスマスツリーを作成し、患者様に季節を感じてもらえる取り組みを行いました。閉鎖病棟であっても、少しでも社会に近く、患者の感情に触れることのできる環境の提供に努めたいと思います。

東I病棟 吉岡美智子



治療抵抗性精神疾患への医療

クロザピンの治療状況

平成22年2月に1例目のクロザピン (CLZ) 治療を開始し、全症例は154例になりました。平成27年11月のCLZ導入は5例でした。このうちの4例は他の病院からのご紹介例で、3例は入院中の患者様でした。これまでにCLZ治療前に暴力行為や多飲水などの問題行動のために隔離が必要な患者様も多くなりましたが、CLZ継続例では問題行動もなくなり、隔離は全て解除できています。週に3回の専門外来も行っていますので、治療抵抗性統合失調症の患者様のご紹介をお願いいたします。

m-ECT (修正型電気けいれん療法) の治療状況

当院では、m-ECT (修正型電気けいれん療法) による治療を行っています。平成27年11月の治療実績は3例であり、各症例とも改善傾向が認められています。

認知症医療

新年、明けましておめでとうございます。

昨年認知症に関する行事は、金武町内5つの区公民館・公会堂で行った「認知症ミニミニ講座」で締めくくりました。「認知症の方との関わり方」と題して、5ヶ所の地区で同じ話をし、59名の町民の方に参加していただきました。講演は「正常なもの忘れ」と「病的なもの忘れ」の違いから始まり、認知症になった方の気持ちについての話でした。認知症の人と接する時の基礎知識として話しましたが、参加した皆さんの関心は「自分のもの忘れは正常かどうか」という点にあったようです。認知症になりかかっているのではないかとという心配に対しては、軽度認知症の話をし、認知症の予防もいろいろな取り組みがあることをお話ししました。テレビでもMCI(軽度認知症)に対する認知リハビリテーションの番組が放送されていますが、ここ沖縄でも認知症予防への関心が高いと思いました。

年が明けた今年1月からは、病院の研修棟で認知症家族教室を始めます。内容は認知症の理解と共に認知症の予防や進行を遅らせることについても触れていきます。認知症に関心のある方は、患者さんのご家族だけでなく一般の方も自由に参加できます。申し込みもいりませんし、参加費も無料です。また、4月からは認知症の予防を目的とした認知リハビリテーションを始めます。こちらは定員20名。もの忘れが気になりだした方を対象に3ヶ月を1クールで行います。認知リハビリテーションは健康保険の対象となっています。

今年は、認知症の予防に力を入れた年をしたいと思っています。皆さんがいつまでも、元気で楽しく暮らせるように応援していきます。気になることがおありの方は、遠慮なくご相談ください。皆さまがスッキリした気持ちで、明るく幸せな毎日を過ごされるよう応援していきます。

重症心身障がい医療

新年、あけましておめでとうございます。

新年号の記事ではありますが、いつもと変わらぬ徒然なる病棟の日常風景を文章でお伝えします。

利用者のKさんは、衣類(上着が多い)を破いてしまう特性をお持ちの方です。そのため病棟内では、破けにくい柔道着(上着のみ)を着用して頂いています。加えて更衣を要求する過程で、衣類を収納している衣類庫へ走り込まれることもあるため、スタッフは注意を払っています。そんなKさんではありますが、受け持ちのS看護師からは多大なる愛情を注がれています。Kさんが更衣を要求すると、S看護師さんはすぐに対応してくれるため、いつしかKさんはS看護師さんを見つけると、走り寄って更衣を要求するようになります。そんなある日、ある職員が排泄失敗でズボンを濡らしてしまった利用者さんの着替えを取ろうと衣類庫へ向かい走っている所へ、S看護師さんがやってきました。その時S看護師さんが職員へ一言「Kさんかと思って、びっくりした」。もうS看護師さんの中では、病棟内で走り寄ってくる人は、全てKさんかと思ってしまいます。裏を返せば、それだけ何度も対応されているのだと、可笑しくも微笑ましく思いました。

アルコール・薬物依存医療

平成25年5月27日、アルコール依存症の新しい治療薬「レグテクト」が発売となりました。レグテクトは、アルコール依存症の方の強い「飲酒欲求」を直接和らげてくれる作用があります。当院では11月現在、外来通院の患者様57名、入院中の患者様16名の方が服用されています。内服している方は「飲酒欲求が軽減した」と話され、再飲酒の抑制につながっています。当院での実際の効果を判定するための調査を行う予定です。患者様へは、適宜導入を勧めています。断酒が困難な方は、ぜひ外来を受診し相談して下さい。

包括的地域精神医療 (ACT)

新年明けましておめでとうございます。今年も、訪問看護チーム(R-ACTチーム)は北部・中部圏域内を要望があれば地域へ向かい、訪問活動を行います。今年も、在宅訪問だけでなく、地域の関係者と連携を強化し、利用者様が社会参加ができるように、就労への一歩、あるいは、なかなか踏み出すことができない利用者様には、小さな一歩が踏み出せるように支援をしたいと思っております。利用者様や地域の関係機関の皆様と共同して頑張りたいと思っております。

今年もよろしくお願ひいたします。